

参考ガイド よくある質問とその答え

No.	よくある質問	よくある質問に対する答え
1	新型コロナウイルス変異株についても本参考ガイドは有効か。	空気感染・エアロゾル感染、接触感染による呼吸器感染症一般に通じる感染リスク低減対策の実践的方法を述べており、その意味で有効と考えます。
2	感染対策のための様々なガイドが作成されているが、本参考ガイドは何が特徴か。	年齢の若い学生、児童の学びの場を対象としています。学校の教育環境整備に責任を持つ、教育委員会、校長先生などを対象とし、性能を維持するための維持管理についても言及しています。
3	東京大学が民間企業との協業による参考ガイドの作成は大学の公益性に対して、「利益相反」に該当しないか。	本参考ガイドは当該産学協創プロジェクトの関係者以外の利害関係のない複数の専門家（医学系を含む）から学術的な評価を受けており、その情報や取り扱いについては透明性を高めた形で公開しています。本参考ガイドは、特定の製品などを推奨するものではなく、参考ガイドでその性能等を引用するすべての製品を適用可能としています。
4	呼吸器感染症とは、具体的には、新型コロナウイルス以外には、どんな病原体を想定しているのか。	感染経路として、接触感染、飛沫感染、エアロゾル・空気感染する呼吸器感染症を引き起こすものを想定していますが、この参考ガイドでは、エアロゾル・空気感染と接触感染に関して言及しています。具体的な感染症としては、毎年冬季を中心に多数の患者が発生するインフルエンザや発熱、咽頭炎、眼症状疾患の原因となるアデノウイルスなどを想定しています。
5	本参考ガイドは、学校現場を想定しているが、今後、病院や介護施設のガイドラインも予定しているのか。	現時点で予定していません。なお、本参考ガイドは、ほかの施設においても、空気感染・エアロゾル感染対策と接触感染リスク低減に対して、参考にさせていただける内容であると考えています。
6	「空気感染」と「エアロゾル感染」は同義ではないのか。	空気感染とエアロゾル感染の区別については、厳密には定義されていません。空気感染とエアロゾル感染は病原体を含んで浮遊する粒子の大きさと湿度が違います。空気感染する病原粒子は小さく、乾燥しており、長く空気中を漂います。エアロゾル粒子と称しているものは、それよりも大きく、唾などの水分がまだ蒸発する過程のもので湿潤しており、空気感染する粒子に比べ、より早く沈降します。
7	室内が熱くなったり寒くなったりすることで、どの程度学習効果が低下するのか。	定量的な数値はありませんが、冬なら手がかじかむ、身体が震える、夏ならば汗が出る、集中できない等々、誰しもが感覚的にわかるレベルの影響があります。ただその影響は人により大きくバラツキます。敏感に反応し、学習に集中できなくなる人も少なくありません。
8	抗ウイルス化・抗菌の塗料・コーティングはどのような効果があるのか。	抗ウイルス・抗菌コーティングを施した表面に付着したウイルスを不活化させ、同じく表面に付着した細菌を死滅させる効果があります。これにより、活性のあるウイルスや増殖の可能性がある細菌の移動・拡散を低減することが期待できると考えられます。
9	抗ウイルス・抗菌コーティングは室内の空気浄化に役立つのでしょうか。	空気中のウイルスや菌に対する効果を示すものではありません。
10	扉などに塗装している抗ウイルス・抗菌オーバーコートは、アルコール消毒液と何が違うのか。	一般的なアルコール消毒液は、手指・皮膚の洗浄・消毒として用いられる指定医薬部外品にあたります。瞬時に菌・ウイルスを除去することができますが、持続的な効果はありません。抗ウイルス・抗菌オーバーコート（コーティング材）は、テーブル・ドアノブなど物品に対して塗装することで、その表面にコーティング膜を形成し、持続的に抗ウイルス・抗菌性能を発揮します。ただし、清掃などの摩耗による耐久性能は、各社製品により異なります。